

<p>発表者の感想</p>	<p>(練馬キングスガーデン江口直人)</p> <p>それぞれの施設でそれぞれの取り組みをされ、看取りの段階となり様々な問題にぶつかり悩み、より良い看取りケアを模索しているようでした。結果ではなくそのプロセスが大事だと感じられました。</p> <p>また、NS、ケアマネ、栄養士、運転士、ケアワーカー等それぞれの立ち位置からの対応でしたが、最終的にはご本人及びご家族の意向が大切であると思われ、ともに歩んでいくことが重要だと感じられました。</p>
<p>参加者の看取り感想（自分の施設）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お見送りの言葉は関係が深かった職員が行っている。利用者、家族との関わりを重視している。</li> <li>・チームのつながりが強い。</li> <li>・その方が苦しまないように対応している。</li> <li>・事前の家族への連絡など最期の時の判断が難しい。</li> <li>・実家への一時帰宅を実施している。</li> <li>・送迎中にその方の歩みを聞く。その方の物語を聞くことが重要。</li> <li>・どうやったら若い職員に死生観を教えられるか。その都度振り返りを行っている。</li> </ul>



## 第5分科会・・・ 祈りの中で共に支える牧師会の働き ～施設での看取りについて～ (ケアハウス1F親睦室)

- ・日本KG 小此木正司、佐々木望
- ・筑波KG 野田 望 「祈りで支える高齢者の生活～協力牧師会の働き～」

書記：池浦真由美（川越キングス・ガーデン） 発表者：山崎公三（主の園）

事例発表	<p>祈りの中で共に支える牧師会の働き(筑波キングス・ガーデン)</p> <p>1. 筑波KG特養における日々の働きやクリスマスやターミナル期における祈りの効果について説明がある。</p> <p>事例として、①死期が近い方にとって孤独感が軽減され、安らかに生活ができること ②死後のお別れ会は生前の思い出や、天国での再会が語られグリーフケアとなること ③玄関から出棺されることは家族が感動する点であることがあげられる。</p>
<p>検討課題</p> <p>小此木牧師</p>	<p>協力牧師の立場からより発題</p> <p>1. ターミナル期にどのように祈るべきか迷った時があった。現在はみ言葉を真直ぐに語ることをしている。例えば「永遠の命」を強調する。</p> <p>2. 家族に対する祈りを心がけている。</p> <p>3. 祈るときに相手に触れて祈るのが良いのかと迷うことがある。</p> <p>4. 「また来ます」と声を掛けるべきか</p> <p>5. スタッフと一緒に共有できたら良いと思うが難しい点がある。</p>
課題に対する主な意見	<p>1. 牧師も悩むことがあることを知った。介護スタッフもターミナルケアを行いながら悩むが、牧師の祈りで励まされている。</p> <p>2. 牧師という立場であるからこそ、利用者が励まされる、スタッフが祈るのとは違い、特別なものを利用者は感じている。別格なことであり、期待も大きい。</p> <p>3. 相手に触れながら祈ることは良いと思う。私的な体験だが、出産のときに背中をさすってもらったことは大変うれしかった。痛みのある方には触らないほうがよいかもしれない。布団の上から触れることでも効果があるのではないかな。</p> <p>4. 聴力は最後まで残ると言われている。それ故に亡くなる直前まで、祈ったり、み言葉を語ることは大切である。</p>
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定施設であっても環境が整っておらず(特に夜間の体制不足)、看取りは希望があっても特養に移って行くことにしている。スムーズに特養に移れるように整えていくのが私の役割と自負していた。</li> <li>・毎日の礼拝は行えない、しかし最後まで出来ることを精一杯するように心がけている。</li> <li>・ケアマネとしてかかわっている方が先日病院で亡くなった。在宅での生活を望んでおり、苦しくても苦しいと言わないその生きように感銘した。</li> <li>・ある方を夫婦で毎日訪問して、賛美や祈りを捧げながら天国に見送りをした。「また明日来ます」と言うと手を振って、毎日待ってくれていた。自分達の終末をどうすべきかと考えさせられた。</li> <li>・夫が牧師をしています。グループホームに入所している姉妹を訪問し、認知症になっても牧師が関わりみ言葉や祈りによりその方の信仰生活が守られることを知った。</li> <li>・信仰はもっていないが、周囲の信仰心に影響されて、賛美歌によりお別れの時を持つに至ったことがある。</li> <li>・祈りや信仰的なお別れ会は本人は望んでも、家族が望まないことがある。このような場合には、仮にキリスト教式で葬儀を行っても、さらに改めて葬儀をされる方もいる。</li> <li>・例え貧しさと病の中で涙することが多くあったとしても、キリストを知ることの素晴らしさに勝るものはないと信じます。故に牧師会の大切な働きがキングス・ガーデンの支えとなっている。</li> </ul>